

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2018/6/30
所属学部	法政経学部
所属学科・専攻	法政経学科経済コース

1. 留学先について

留学先大学名	ユヴァスキュラ大学										
留学先所属学部等	経営・経済										
留学期間	出発日	2017/8/7	入学日	2017/8/14	修了日	2018/5/18	帰国日	2018/5/15			
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input checked="" type="checkbox"/>	民間アパート	<input type="checkbox"/>	その他()						
	通学時間	15分～20分				On campus					
	通学方法	自転車									
	居室スペース	個室	<input checked="" type="checkbox"/>	(3)	人部屋	その他()					
	共有スペース	完全個室	<input checked="" type="checkbox"/>	キッチン	<input checked="" type="checkbox"/>	トイレ	<input checked="" type="checkbox"/>	バス	<input checked="" type="checkbox"/>	リビング	<input type="checkbox"/>
食事	自炊	60 %	学食	35 %	外食	5 %	その他 () %				
保険	海外旅行保険(名称)	AIU海外旅行保険									
	派遣先大学指定の保険(名称)	なし						<input type="checkbox"/> 強制加入			
	その他										
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)										
	成田	⇄	ヘルシンキ(飛行機)	⇄	ユヴァスキュラ(バス)						

2. 留学にかかった費用について

総費用	138万 円					
出どころ						
自費	貯金	円	アルバイト 10万 円	その他	円	
援助	両親	円	家族・親戚	20万 円	その他	円
奨学金	JASSO	72万 円	その他名称()		円	
その他	千葉大学助成金	36万 円	その他()		円	

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/>	現金	5万 円	その他()	円
留学中		海外送金	キャッシング	<input checked="" type="checkbox"/>	その他(デビットカード)

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	なし
住居にかかった費用	コンビニにて支払い
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			17万	円
海外旅行保険			15万	円
OSSMA			2万	円
査証・在留許可証	€	300	約4万	円
住居	€	300×10か月	約40万	円
食費	€	200×10か月	約26万	円
通学に要する交通費	€	100	約1万3000	円
教科書、教材費	€	4	約500	円
その他大学に支払った経費		0	0	円
光熱費		0	0	円
その他 (旅行)	€	2,300	約30万	円
その他 (スポーツ関係費)	€	200	約2万5000	円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無		
				有	無
1 Finnish1	正規	5		有	無
2 Finnish2	正規	5		有	無
3 Each One Teach One	正規	6		有	無
4 Microeconomics	正規	8	✓	有	無
5 Labor Markets	正規	5	✓	有	無
6 Derivatives	正規	5	✓	有	無
7 Stochastic Model	聴講	4		有	無
8 Academic English Communication	正規	3		有	無
9				有	無
10				有	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

シラバス、履修登録、成績確認は千葉大の学生ポータルと同じようなものを使います。学生は基本的にどの学部の授業も履修することができ、大学院の講義にもチャレンジすることは可能です。

3-2. 授業内容、方法に関して

経済の授業に関しては、ほとんど千葉大の講義と変わらず、座学が中心でした。言語系の授業は他の学生とコミュニケーションを取る機会が比較的多かったです。

3-3. 語学力について

英語に関しては、圧倒的に足りない、と感じる機会はあまり多くはありませんでした。(もちろん常に向上心は持ち続け、学んだことは多くありましたが。)大学の先生も、そしてフィンランド人の学生、留学生もみんな英語を第二外国語として使用してるからだと思います。フィンランド語は難しい言語だと言われていますが、案外やってみるとできるようになるもんです。もちろんそれなりに難しいですが。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館はそれほど大きくありませんが、教科書がたくさん置いてあったので、教科書を買わずに図書館から借りて使いました。学内にはカフェや学食が至る所にあります。学食はStudent Unionに加入していれば2.6€でお皿に盛り付け放題です。

3-5. その他

--

4. 生活面

4-1. 住居について

ルームシェアのタイプでルームメイトが2人いました。特別な希望がある場合は申請時に伝えると良いと思います。個人的には日本人と同部屋にならないようお願いをしておけばよかったと後悔しました。

4-2. 食生活について

外食は非常に高く、ほとんど利用することはありませんでした。スーパーで食材を買う分には、物価の高さはそれほど気になりませんでした。また、学食は2.6€で利用することができるのでよく利用しました。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

部屋のインターネットは無料で使うことができます。通信制限等もありませんでした。携帯電話は、SIMフリーのスマートフォンに日本にいる間から切り替え、プリペイドのSIMカードを現地で購入し使いました。

4-4. 服装について

室内は暖かいので、冬も日本の一番寒い時期と同じような服装で大丈夫でした。

4-5. 健康管理について

適度に運動をしたり、規則正しい生活、食事をすることで、大きく体調を崩すことはありませんでした。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

幸運にも利用することはありませんでした。

4-7. 課外活動について

University Sports という大学の放課後のスポーツクラスに参加し、週に1回フロアボールというスポーツをしていました。ほかにも、市内のジムに通いました。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

大学が提供しているFamily Friendship Program(事前応募)を使ってホストファミリーを持つことができ、2週に1回程度家族に会い、フィンランドの家庭、文化について触れることができました。

4-9. 日本から持参してよかったもの

ちょっとしたお土産。手ぬぐい、お箸を持っていきました。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

フィンランド語を使うととても喜んでもらえます。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

スウェーデン、ノルウェー(2017年11月(4日間)約5万)
ポーランド、ハンガリー、イタリア(2017年12月(6日間)約10万)
チェコ、ドイツ(2018年1月(5日間)約10万)
スウェーデン、デンマーク(2018年3月(5日間)約5万)

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

健康管理のため運動を意識的にするようにしました。また、気分転換に料理にもチャレンジしました。

5. その他

5-1. 留学先大学について

歴史ある国立大学であり、街の中でも大学の存在感は大きいと思います。留学生の数も多く、いろいろな国から来た留学生と出会うことができると思います。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

本当に自分は留学をしたいのか、どんな経験を得たいのか、などといった基本的なことを何度も自分に問いかけて、突き詰めて考えると良いと思います。意志が弱くて挫折してしまう学生を現地で少なからず見かけました。

5-3. 留学を終えて

海外の大学で2学期間過ごしたという経験、そしてその期間中での小さなチャレンジ、成功を通して、以前の自分よりも、自分に自信を持つことができるようになりました。帰国後1か月と半分が経ちましたが、新しく会う人とコミュニケーションを取るとき、何か新しいことにチャレンジするとき、など以前よりも自分に自信を持って取り組むことができるようになりました。留学をするという決断をしてよかったなと思います。